



選擇肢

- ① assumption    ② perspective    ③ abstract    ④ intellectual  
⑤ carefully    ⑥ therefore    ⑦ although    ⑧ while  
⑨ which    ⑩ as    ⑪ demanding    ⑫ beyond  
⑬ despite    ⑭ questioning    ⑮ challenged

## 解答

(1) ③ abstract (2) ① assumption (3) ⑤ carefully (4) ② perspective (5) ④ questioning (6) ⑪ demanding (7) ⑮ challenged (8) ⑫ beyond (9) ⑩ as (10) ⑧ while (11) ⑥ therefore (12) ⑨ which (13) ⑦ although (14) ④ intellectual (15) ⑬ despite

## 解答解説

### 解答解説

(1) 正解 ③ abstract 空所は seem の後ろなので補語になる形容詞が必要です。abstract は「抽象的な」という意味で、哲学に対する一般的な印象として自然です。too abstract to be useful で「役に立たないほど抽象的だ」となります。

(2) 正解 ① assumption 空所の前に an があり、後ろに that people rarely notice という形容詞節が続いています。したがって名詞が必要です。assumption は「前提・思い込み」という意味で、哲学が問い直す対象として適切です。

(3) 正解 ⑤ carefully 空所は動詞 think を修飾するので副詞が必要です。carefully は「注意深く」という意味です。think carefully about ~「~について注意深く考える」の形になります。

(4) 正解 ② perspective a person's の後ろなので名詞が必要です。perspective は「視点・観点」という意味です。broaden a person's perspective で「人の視野を広げる」となります。

(5) 正解 ④ questioning of の後ろなので名詞相当語句が必要です。questioning は動名詞で、「疑問を投げかけること」という意味です。questioning ideas で「考えを批判的に検討すること」となります。

(6) 正解 ⑪ demanding be 動詞の後ろなので形容詞が必要です。demanding は「骨の折れる」という意味です。後ろの because it requires patience and effort と内容が一致しています。

(7) 正解 ⑮ challenged are finally の後ろで、and tested と並列になっています。したがって過去分詞 challenged が適切です。are challenged and tested で「吟味され、検証される」となります。

(8) 正解 ⑫ beyond 空所の後ろに the classroom という名詞が続くため前置詞が必要です。beyond the classroom は「教室を超えて」「教室の外でも」という意味です。

(9) 正解 ⑩ as 後ろに simple answers are unavailable という節が続いています。as は「~のような」を表し、situations as simple answers are unavailable で「単純な答えがないような状況」となります。

(10) 正解 ⑧ while 前後に S+V があり、内容も対比されています。「~する一方で」を表す接続詞 while が適切です。

(11) 正解 ⑥ therefore 前文を受けて結論を述べています。therefore は接続副詞で、「それゆえに」「したがって」という意味です。

(12) 正解 ⑨ which 先行詞 skills を修飾する関係代名詞です。skills which philosophy develops で「哲学が育てる能力」となります。

(13) 正解 ⑦ although 前半と後半が逆接関係です。although は「~だけれども」「~にもかかわらず」を表す接続詞です。

(14) 正解 ④ intellectual 空所は thinkers を修飾する位置なので形容詞が必要です。intellectual thinkers で「知的な思考者」という意味になります。

(15) 正解 ⑬ despite 後ろに名詞句 its reputation for being impractical が続

いています。despite は前置詞で「～にもかかわらず」を表します。despite A の形を確認しておきましょう。

## 全訳

多くの生徒は、なぜ哲学を学ぶべきなのか疑問に思います。最初は、哲学は役に立たないほど抽象的に思えるかもしれません。すぐに答えを与えてくれる科目とは異なり、哲学は人々がほとんど気づかない前提を検討することから始まります。生徒たちは、これまで疑うことなく受け入れていた考えについて、より注意深く考えるよう促されます。事実を暗記するのではなく、理由や根拠を評価する方法を学びます。この慎重に考える習慣は、学校生活だけでなく日常生活においても、よりよい判断をする助けになります。

哲学の重要な利点の一つは、人の視野を広げることです。人々はしばしば、広く共有されているという理由だけで一般的な考えを受け入れます。哲学は、他人が当然と思っている考えに疑問を投げかけることの価値を教えます。この過程は忍耐と努力を必要とするため、骨の折れるものかもしれません。しかし、難しい問いはしばしばより深い理解へと導きます。

ある信念は、新しい議論によってようやく挑戦され、検証されるまで、何年も吟味されないまま残ることがあります。

哲学は教室の外でも価値があります。単純な答えが存在しないような状況を理解する助けになります。実際的な結果に主な関心を向ける人もいる一方で、哲学者はより深い問題に注目します。人はなぜそのように信じるのか、知識そのものはどのように可能なのかを問い続けます。それゆえに、問題を論理的に分析する能力は多くの職業で役立ちます。雇用者は、自分の考えを明確に説明し、問題を多面的に検討できる人を高く評価することがよくあります。

哲学が育てる能力の多くは、日常生活にも応用できます。哲学は必ずしも明確な解決策を与えるわけではありませんが、思慮深い議論と自主的な判断を促します。哲学を学ぶ生徒は、より知的で自信のある思考者になることがよくあります。実用的でないという評判にもかかわらず哲学が重要であり続けるのは、そのためです。結局のところ、哲学は何を考えるかだけでなく、どのように考えるかを教えてくれるのです。